



未来につなげる 教育のかたち

学校教育の
充実を目指して

全国的にも評価を受けている 本市の取り組みについて

各小・中学校や各地域で取り組んでいる活動は、全国的にも評価を受け、その取り組みが文部科学大臣表彰を受けています。地区内の小・中学校や自治会、企業など、地域が一体となって学校づくりを行っている点や、本市が継続的に取り組んできた読書活動の取り組みなどが高く評価されました。

目指す子どもの姿



学校教育力の向上

地域とともにある学校づくり

四日市ならではの地域資源を生かした教育の推進





ちゃんねる
連動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

- 地デジ12ch (CTY)
- 3月21日(祝)～31日(土)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

子どもたちが自身の夢や志を実現するためには、「学ぶこと」「学び続けること」が不可欠です。

本市では、読書活動や地域とともに進める学校教育活動など、さまざまな取り組みを通して、「輝くよっかいちの子ども」の育成を目指しています。今回の特集では、四日市の子どもたちを支える教育現場の今を紹介します。

**キャリア教育優良教育委員会、
学校およびPTA団体等
文部科学大臣表彰**

平成29年度 山手中学校
平成28年度 西笹川中学校



地域防災学習(山手中学校)



パネルディスカッション(西笹川中学校)

**「地域学校協働活動」推進に係る
文部科学大臣表彰**

平成29年度 中部中学校
平成28年度 中部西小学校
平成27年度 八郷小学校



地域スペシャリスト授業(中部中学校)

**子どもの読書活動優秀実践校
文部科学大臣表彰**

平成29年度 富洲原中学校



生徒による選書「マイブック」



まちかど音楽会(中部西小学校)



安全パトロール(八郷小学校)

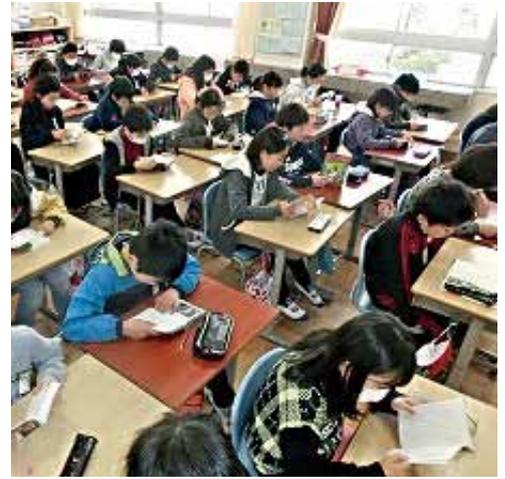
学校の一日で見る、



読書活動

市内の多くの小・中学校では、授業が始まる前の10分間、一人ひとりの児童・生徒が自分で選んだ本を黙読する「読書活動」を実施しています。この活動により、学校生活や授業が落ち着いた雰囲気が始まります。そして、子どもたちが読書習慣を身に付けるとともに、授業時の集中力の向上など、さまざまな効果が期待されています。

読書活動を通して想像力・思考力・表現力などを育成し、子どもの豊かな心を育みます。



小学1年生、中学1年生では落ち着いた学習を進めます

「小1プロブレム」「中1ギャップ」などという言葉聞いたことはありませんか。保育園・こども園・幼稚園から小学校へ、また、小学校から中学校へ進級・進学した時期には、教育環境や学習内容の大きな変化が生まれます。子どもたちの中には、こうした環境の変化に強い不安や戸惑いを感じる子どももいます。

そのため本市では、そうした子どもたちを見逃さず、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導やサポートを行えるよう、「**小・中学校1年生の30人学級**」による少人数教育を行っています。



中学1年の30人学級



ICTを活用した授業で学ぶ

10代のスマートフォン利用率が90%を超える今、「スマホネイティブ世代」とも呼ばれる子どもたちには、ICT(情報通信技術)が身近なものとして定着しています。

そんな今どきの子どもたちが学ぶ学校では、従来の黒板、教科書に加え、電子黒板、デジタル教科書などの**ICTを活用し**、分かりやすい授業になるよう取り組んでいます。

また、日々多忙な先生の負担を減らして、子どもと向き合う時間をより多く確保できるようにすることも、ICTの重要な役割の一つです。



小学校算数科授業

四日市市の教育



ずっと元気に生きていくために自分に合った体力を身に付けよう

人間にとって体力は、生涯にわたり健康に生活をしていくための原動力です。特に、「生きる力」の基礎・基本をつくる子ども・学生時代の**体力向上**の取り組みは、とても重要です。



校内マラソン



休み時間のなわとび運動



小・中学校の英語教育が変わってきています

グローバル化する社会において、自らの思いや考えなどを積極的に発信する異文化コミュニケーションを促進するため、本市ならではのネイティブの英語指導員を活用した授業を行うなど、教室で英語を使うための環境づくりを行っています。

また、西笹川中学校では、「四日市市英語教育推進校区」として、小・中学校が連携した効果的な指導について研究とその実践を進めています。



特別授業「LET'S ENJOY ENGLISH」



保育園・こども園・幼稚園から中学校までつながる教育

保育園・こども園・幼稚園から始まる教育は、小学校、中学校とそれぞれのステージで学ぶ内容が変わっても、切れ目なく続いています。

本市では、各園・校における学びを一つのつながりと考え、指導方法や指導体制を共有し、滑らかな縦の接続を実現できるよう連携型一貫教育「**学びの一体化**」を進めています。

地域の保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校の連携を深め、共に学び合い、子どもが育っていく仕組みを作っています。

子どもが帰った後は…



学びの一体化連絡会議



子どもの成長を支える

企業とつながる

～将来の自分のすがた～

子どもがさまざまな職業を疑似体験できるテーマパークが国内にオープンするなど、近年は子どもの職業体験の必要性が重要視されています。

市内の小・中学校が行っている職業・職場体験は、子どもたちが直接働く人と接したり、働く上での知識や技術・技能に触れたりして、子どもたちが学ぶことや働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感できる貴重な機会となっています。



企業出前授業



職業体験

また、地元企業による出前授業では、専門的な知識や技術に触れたり、実際に働く人たちの声を直に聞いたりできる貴重な機会になっています。

自ら仕事を体験したり、働く大人と接したりする授業を通して、自分の将来をイメージし、未来に希望を持てる子どもたちを育てていきます。

子どもを支える

～スクールカウンセラーという存在～

変化の激しい時代を生きる子どもたちも、頑張り過ぎてしまったり、心が疲れてしまったりすることがあります。そんなとき、先生とともに気持ちを受け止めてくれる存在が、スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーなどといった心理的・福祉的な専門スタッフです。

市内の小・中学校に配置されているスクールカウンセラーは、子どもたちや保護者、時には先生の相談相手になっています。

また、相談を受けていない時間も校内を見回って、気になる子どもを見かけたら、先生と連携するなど、子どもたちのサインを見逃さないように気を付けています。

皆さんが悩むことや、不安な気持ちを抱えることは、自然なことです。心配に思うことを、一緒に考えられる身近な存在になりたいです。お子さんだけでなく、保護者の方も気軽に来てくださいね。



浜田小学校
スクールカウンセラー
ゆうき
坪田 祐季

環境づくり

教育環境向上のための整備計画

食缶方式による中学校給食の実施

成長期にある中学生に、よりふさわしい給食を提供するとともに、給食を通じた食育や地産地消を進めるため、四日市の生徒全員が食べる食缶方式による給食の実施に向け、取り組みを進めています。今年12月までに整備・運営の手法などの基本計画を検討し、その後の速やかな実施を目指しています。



小・中学校普通教室のエアコン整備

良好な学習環境を確保するため、学校生活において児童・生徒が最も長い時間を過ごす普通教室へのエアコン設置を進めていきます。現在、工事を行う業者を選ぶ手続きを進めており、平成31年度に工事を行い、平成32年度から全ての小・中学校での稼働を目指します。



活字で四日市に触れる

～四日市子ども広報～



昨今の活字離れを防ぐとともに、子どもたちに四日市について深く知ってもらいたいという思いから、平成29年7月に創刊しました。

子どもたちの考える力や資料を活用する力を育み、自分たちが住む四日市に興味と愛着を持てる構成になっています。四日市ゆかりの著名人のインタビューに加えて、四日市の魅力を川柳にするコーナーやお薦めの本を40字で紹介するコーナーなど、小・中学生の投稿が紙面にあふれています。ぜひ注目してください。

2カ月に1回、四日市の小・中学校で全児童・生徒に配布するほか、市ホームページ([HP ID 1499324784643](http://www.city.yokkaichi.lg.jp))でもご覧いただけます。

編集後記

30歳の編集者が子どもの頃と比べて、小・中学校での取り組みが大きく変わっています。この特集を通じてお子さんやお孫さん、地域の子どもたちが学校でどんなことをしているのか知っていただき、地域・社会のみんなで子どもを育てていければと思います。(指導課 前田、広報広聴課 小林)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

指導課 ☎354-8255 FAX354-8475
広報広聴課 ☎354-8244 FAX354-3974